



学芸会を通して育む力

校長 羽田野庸史

2学期も折り返し点を迎え、児童は、現在、学芸会に向けて練習に励んでいます。東町小では、文化や芸術に親しみ、美しいものや優れたものに触れることによって豊かな情操を育てる場として、学芸会と展覧会を隔年で位置付けています。したがって、1・2年生には初めての、5・6年生にとっては小学校生活最後の学芸会となります。どの学年の児童にとっても思い出に残る学芸会にしたいと思います。

私の学芸会の思い出は、自分が出演した「夕陽のガンマン」という映画です。映画と言っても、16ミリ映写機で撮った（無声）映像とテープレコーダーに録音した音声のタイミングを合わせて流すものでした。子供ながらに映像と音声が合わないのでは…と思っていました。案の定、学芸会当日、映像と音声はずれていて、初めて観た人には、ストーリーがよく分からなかったと思います。また、実際に映像を撮る前日に役が変わり、夜、布団の中に入ってまで必死になって台詞を覚え直したことを今でも覚えています。それでも、小学校時代の私の大切な思い出です。

学芸会の「学芸」は、「学問」と「芸術」のことで、学芸会は、学業の成果を劇や音楽を通して、発表する会です。学芸会では、次の3点を重点的に指導します。

- ①力を合わせて、一つのものを創り上げる。
- ②一生懸命練習したことを力一杯楽しく演ずる。
- ③きまりを守って静かに見る。

この中でも、表現力育成の観点から、②についてどの学年にも以下の点を指導します。

- 話の内容、登場人物のキャラクターを理解する。
- 大きな声で、言葉をはっきりと話す。
- ふさわしい動作を付ける。

そして、低・中・高学年の発達段階に応じて、以下の点をさらに指導します。

- [低学年] ・立ち位置に気を付ける。
- [中学年] ・“間”を取る。
- [高学年] ・言葉をかぶせる。  
・台詞がないときの動作を工夫する。

これらの取り組みを通して、児童が、互いに努力を認め合いながら協力して、美しいもの、よりよいものを創り出し、互いに発表し合うことにより、自他のよさを見付け合うとともに、自己の成長を振り返り、自己を伸ばそうとする意欲をもてるようにしたいと思います。

11月 行事予定

日	曜	行事等	放課後遊び
1	水	安全指導 4時間授業 研究授業（3年1組 5校時）	なし
2	木	就学時検診 4時間授業	なし
3	金	文化の日	
4	土		
5	日		
6	月	委員会 社会科見学（6年）	4～6
7	火	PTA読み聞かせ	3～6
8	水	4時間授業	なし
9	木		4～6
10	金	4時間授業 アカデミー研究授業日	なし
11	土	日本文化の時間 PTA 常任委員会	なし
12	日		
13	月	避難訓練 クラブ	4～6
14	火	開校記念日 開校記念日集会	3～6
15	水		なし
16	木	音楽朝会	4～6
17	金	学芸会（児童鑑賞日）	2～6
18	土	学芸会（保護者鑑賞日）	なし
19	日		
20	月	学校評議員会	4～6
21	火		3～6
22	水	盲導犬キャラバン（4年） 個人面談①	なし
23	木	勤労感謝の日	
24	金	個人面談②	なし
25	土		
26	日		
27	月	個人面談③	なし
28	火	音楽鑑賞教室（5年） 個人面談④	なし
29	水	お話会②	なし
30	木	お話会③ 個人面談⑤	なし

11月の生活目標

生活指導主幹 三根 博喜

力を合わせて、最後までやりぬこう

心理学者のアンジェラ・リー・ダックワース氏が著書で「長期的に向けた忍耐力と情熱」が成功への要素だと述べています。では、やり抜く力を身に付けるにはどうしたよいのでしょうか。

①身近な満足感、達成感で自信を付ける。身の周りの小さいことから最後までやり通すことを繰り返すことで自信を得られます。②面白さに気付く。本質や歴史、趣旨などを知ることによって「面白さ」を発見できればやり抜きたいと思わずに済みます。③目標を持つ。ゴールが見えていると、いないとでは意欲がまったく変わってきます。ゴールした自分を常に描き続けることで意欲を高めます。大きな目標に向かって、毎日の小さな困難を乗り越えていくことで、その面白さに気付き、繰り返している間にいつのまにか目標を達成している。その姿が「成功」なのかもしれません。